

自他を大切にし、よりよい学級・学校生活を築こうとする児童の育成  
～自主的・実践的な集団活動を通して～

## 第1学年 学級活動(1) 指導案

令和3年9月1日(水) 第5校時  
第1学年3組 31名  
授業者氏名

### 1 議題 「2がっきもよろしくねのかいをしよう」

### 2 児童の実態と議題選定の理由

本学級は、男子15名・女子16名、計31名のクラスである。全体的に明るく活発で、休み時間にはほとんどの児童が校庭に遊びに行き、元気に体を動かしている姿が見られる。授業中の発言も盛んで、自分の意見をはっきり言え、何度も手を挙げる児童が多い。一方で、せっかく発言しても、全員の前だと声が小さくなってしまったり、発言自体をしなくて1時間過ぎてしまったりする児童が数人いる。また、学習のルールは守れるようになってきたが、友達の発言を待たずに話してしまう児童も数名いる。

これまでの学級活動では、話し合い活動を中心に進めている。自分の仕事に責任をもって率先して活動を行う姿が見られる。また、学級会では、学級目標や共有物の使い方について話し合いをしたり、ハーフ&ハーフで何をしてみんなで遊ぶのかを話し合ったりしてきた。学級目標については、教師主導で話し合いを進め、どんな1年生になりたいかを一人一人が考えた。様々な意見を出し合って、「かっこいい1年3組」を柱として、その目標に向けて、「ルールをまもるクラス」「みんなにやさしいクラス」「こまっていたら、たすけあうクラス」の3つに決定した。学級目標をもとに、自分自身がどんな1年生になりたいかという個人目標を決めた。学級目標と個人目標を決めたことで、「目標に向かってみんなで一緒に頑張りたい。」という気持ちが少しずつ芽生えてきている。児童の中で、「学級会」は「楽しいことをする話し合い」ということが分かってきていて、学級会を楽しみにしている児童が増えてきた。学級会の流れや司会グループの役割などを理解し始めている。司会グループになると児童はすすんで役割分担を決め、司会の役割ができることを楽しみにしている児童が多い。話し合いを行う上で、自分の意見を言ったり、友達の意見を聞いたりすることでお互いの意見の違いを認め合うことができている。時間内に決めて遊ぶには自分の意見を押し通すだけではなく、譲り合ったりアイディアを出し合ったりしていくことを実感できるようにしていきたい。自分たちで話し合って決めたことが実践できて楽しい、うれしいという経験をたくさん積み重ね、自信をもたせていきたい。

本議題は、これまでやってきたハーフ&ハーフの活動をふまえ、さらに「ともだちのことをたくさんしって、もっとなかよくなりたいから」という思いを込め、学級全体で議題選定をした。第7回の学級会の議題が「2がっきもよろしくねのかいをしよう」に決まった。みんなのことをたくさん知ることができる遊びを考えて実践することで、友達と関わるのが楽しいと思えるような意識をもたせ、クラスがまとまり学校生活をより楽しめるようにしていきたい。

### 3 学級のあゆみ

日時	議題・提案理由	内容	様子
4/28	「クラス集会をしよう」新しいクラスになって、みんなで遊んで楽しみたいから。(1)	ぼくだんゲーム (ハーフ&ハーフ)	ボールを持った人が自己紹介をして、みんなで遊びを楽しみながら、友達のことも知ることができた。
5/13	「学級目標を決めよう」どんな1年生になりたいかをみんなで決めたいから。(1)	かっこいい1ねん3くみ ・ルールをまもるクラス ・みんなにやさしいクラス ・こまっていたら、たすけあうクラス	学級目標を決めたことで、1年間でどんな1年生になりたいかをイメージすることができた。

5/27	「生活当番を決めよう」 どんな当番があるといいか みんなで決めたいから。(1)	けっせきしらべ・てがみ くぼり・こくぼん・ほん すいとう・なふだ・らんどせ る・ごみすて・はいぜんだい きんようび・ろうか	クラスでどんな当番があると、い いのかを考えて意見を出すだけ ではなく、当番活動も頑張ろうと する思いをもつことができた。
6/3	「雨の日の遊びを考えよう」 雨の日に安全に楽しく遊び たいから。(1)	ばくだんゲーム・しんげんち 音楽を聴いて動く・しりとり 絵しりとり・ジェスチャーゲー ム・クイズ・本読み・ お絵描き	静かに遊べる遊びについて考え ることができた。雨の日に何をす るか忘れてしまうことがあり、全 てできなかった。
6/10	「学級会の名前を決めよう」 みんなでやる話合いをもつ と楽しくしたいから。(1)	1ねん3くみかいぎ	多くなった意見に「よし！」など と気持ちを声に出してしまうこと があった。
6/17	「みんなで使うもの」 みんなで使うものの使い方 を考えよう。(2)	みんなで使うものの使い方 について	みんなで使うものについてどの ように使うのかを考えることが できた。使ったものは必ず片づけ られるようになった。
6/24	「クラス集会をしよう」 1年3組のみんなでいろんな 遊びをしたいと思ったから。 (1)	ばくだんゲーム ジェスチャーゲーム (ハーフ&ハーフ)	時間が限られていたが、「時間が なかったら1つだけやる。」と決 めて、2つの遊びをすることがで きた。
7/1	「クラスみんなで遊ぼう」 いろいろな遊びをみんなで 楽しくやりたいから。(1)	しんげんち ばくだんゲーム (ハーフ&ハーフ)	時間がなかったため、1つの遊び しかできなかった。2つやりたか ったが、「出来なかったらまた今 度やろう。」と代案を出していた。
7/8	「みんなで遊ぼう」 話合いで決まった遊びをみ んなで楽しく遊びたいから。 (1)	なんでもバスケット (ハーフ&ハーフ)	話合いをして決まった遊びを、 「嫌だ。」と言うことなく、みん なで遊ぶことができた。
7/15	「お楽しみ会をしよう」 1学期みんな頑張ったから、 楽しく遊びたいと思ったか ら。(1)	だるまさんがころんだ (ハーフ&ハーフ)	鬼が「動いた！」と、指摘した時 に、「動いてない！」と言合い になることがあった。

#### 4 目指す児童像に向けて

##### ① 自分の思いや願いをもって、意欲的に取り組む子

###### 自分の意見を伝える

- ・ 学級会の前に何を話し合うのかを知り、事前に自分の意見を学級会ノートに書けるようにする。
- ・ 自分の考えをもてるようにするために事前に繰り返し議題について触れる。
- ・ 理由を述べられるように、普段の授業から意識できるようにする。
- ・ 意見を短冊に書き写し、挙手をして発言することが苦手な児童の意見も表出できるようにする。

###### 司会グループとの事前準備

- ・ 進め方について事前に打ち合わせをすることによって自信をもって進められるようにする。
- ・ 司会の手引きを持たせ、話合いがスムーズに進むようにする。
- ・ 話合いで、司会グループが進め方で困ったときは、教師が司会グループに助言をする。その際、みんなにも聞こえるようにし、他の児童も話合いの進め方を学べるようにする。

##### ② 自他のよさや差異を認め合い、大切にすること

###### 自他のよさを認める日常的な活動

- ・ 他教科の話合いの活動で、友達の話の聞いたり、自分の考えを話したりすることで、自分と友達の意見が違うことを認め合えるようにする。

### 最後まで話を聞くことの徹底

- ・ 自分と同じ意見でも違う意見でも大切にし、最後まで黙って話を聞くようにする。友達の意見をしっかり聞いてから自分の意見を伝えるようにする。

### 意見の言い方の約束

- ・ 話し合いは、賛成意見を中心に進めていく。
- ・ 賛成・反対の立場を明らかにして、どうしてその意見なのか、理由を伝えられるようにさせる。

### 話し合いを意識した活動

- ・ 提案理由をもとに、活動を進めていく。
- ・ 話し合いで決まった意見を大切にし、文句を言ったり、嫌な言葉を言ったりしないように指導する。

### 教師による価値づけ

- ・ 教師は、学級会の終末の言葉で、①司会グループの頑張り②フロアの児童の頑張り③活動への意欲等について、具体的に話をして価値づけする。教師の価値づけを通して、児童自身がめざすべき姿を具体的にイメージできるようにする。

## 5 事前の活動 ○司会グループ ●学級全体

日時	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿（観点） 【評価方法】
8/27 (金) 中休み	●議題の選定・決定 ・議題案をいくつか選び決定する。 ・提案理由を確認する。 ・活動場所を確認する。	・「みんなで活動したら、楽しくて、みんなのことを知って、仲よくなれること」を意識させる。	◎みんなと楽しく仲よくなれるような議題を決定したり、提案理由を確認したりしようとしている。 (主体的に取り組む態度) 【発言・観察】
8/30 (月) 中休み	●学級会ノートに自分の考えを記入する。	・議題や決まっていることが、共通理解できるよう必要に応じて助言する。	◎「なかよくなる、たくさんしる」に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。 (思考・判断・表現) 【学級会ノート】
8/31 (火) 中休み	○学級会に向けての準備 ・司会・黒板記録・ノート記録・タイマーの仕事内容を確認する。	・仕事内容や話し合いの流れを確認する。	◎司会・黒板記録・ノート記録・タイマーの仕事内容を理解している。 (知識・技能) 【活動計画・観察】

## 6 評価規準（第1学年及び第2学年）

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見を求める話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	学級の身の回りの問題に関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。

## 7 本時の活動

(1) ねらい みんなのことをたくさん知ることができる遊びを決めるために話し合い、決めた遊びで楽しく活動することができる。

(2) 活動計画

1. はじめのことば	これから、だい( )かい 1ねん3くみかいぎを はじめます。きをつけ、よろしくおねがいします。
2. やくわり	きょうの しかいグループの しょうかいをします。 しかいの( )です。しかいの( )です。 こくばんきろくの( )です。 ノートきろくの( )です。 タイマーの( )です。 よろしくおねがいします。
3. ぎだいのかくにん	きょうの きだいは( )についてです。
4. はなしあいたいりゆう	はなしあいたいりゆうは、( )です。 なにか、いけんの あるひとは いますか。
5. はなしあいのかくにん	では、はなしあいに はいります。はなしあいの じゅんばんは、 ① (くらべあう)について、( )じ( )ふん まで ② (まとめる)について、( )じ( )ふん まで きまっていることを かくにんします。きまっていることは、( )です。
6. はなしあい	では、①(くらべあう)について、いけんを ってください。
「だしあう」	〇いま、でている いけんは、( )です。 ほかに どうしても やりたいことが あったら、ってください。 この なかから きめていいですか。
「くらべあう」	つぎに、さんせいや はんたいの いけんを ってください。 ☆いけんが あるひとは、てを あげてください。
「まとめる」	じかんになりました。そろそろ いけんを まとめたいと おもいます。 ( )という いけんが おおいので、 ( )にきめても いいですか。
7. きまったことのはっぴょう	きょう、きまったことを ノートきろくの( )さんにはっぴょう してもらいます。  ノートきろく：きょう、きまったことは( )です。
8. ふりかえり	はなしあいの ふりかえりを しましょう。 きょうは、かつどうの あとに ふりかえりを します。
9. せんせいのおはなし	つぎに せんせいの おはなしです。
10. おわりのとば	これで、だい( )かい 1ねん3くみかいぎを おわります。きをつけ、ありがとうございました。

(3) 展開

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【観点方法】
1 はじめのことば 2 司会グループの紹介 3 議題の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>司会グループが自分の役割についての課題をもたせるようにすることで、自分の役割を自覚できるようにする。</li> </ul>	
<div style="border: 3px double black; padding: 5px;">2がっきもよろしくねのかいをしよう</div>		
4 提案理由の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>改めて全体で確認することで、提案理由を意識して、話し合えるようにする。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ともだちのことをたくさんして、もっとなかよくなりたいたいから</div>		
5 話合い 「何をしてあそぶか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊ぶ時間を確保するために、話し合うことは、時間短縮し、「くらべあう」段階から進められるよう、事前に短冊に掲示し、出されている意見を全員で共通理解できるようにしておく。</li> <li>司会が進行に困ったときは、方向性を示唆する。</li> <li>自分の意見に固執せず、納得したうえで考えを変えることなど、折り合いをつけることも必要であることについても助言する。</li> </ul>	◎自分の意見を言おうとしたり、友達意見を聞こうとしたりしている。 (思考・判断・表現) <b>【観察・発言】</b> ◎司会の進行に沿って話し合おうとしている。 (知識・技能) <b>【観察】</b>
6 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> <li>話合いでの司会グループの頑張りや、ねらいに関連した発言について具体的に名前を挙げたり、自分たちで決めたからこそ実践できたりすることを大いに称賛する。</li> </ul>	
7 集会 「2がっきもよろしくねのかいをしよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>話合ったことを大切に、文句や嫌なことを言わずに活動をする。</li> </ul>	
8 活動の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>集会をやって楽しかったことやよかったことを発表させる。</li> </ul>	
9 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲よくなるための言動や行動を具体的に称賛する。児童に自信や、次回の学級活動への意欲をもてるようにする。</li> </ul>	
10 おわりのことば		

## 8 板書計画

まとめる	くらべあう	だしあう	だい7かい 1ねん3くみかいぎ
ふりかえり	きまつたこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・ しんげんち</li><li>・ ばくだんげえむ</li><li>・ なんでもばすけつと</li><li>・ ふるうつばすけつと</li><li>・ いすとりげえむ</li><li>・ だるまさんがころんだ</li><li>・ ばくだんげえむ</li></ul>	ぎだい 2がつきもよろしくねのかいをしよう
		なにを して あそぶか。	はなしあいたいりゆう
			もつとなかよくなるために、みんなのことをたくさんしりたいたいから。
			はなしあうこと
			☆きまつていること にちじ
			・ 9がつ1にち(すい)
			・ 5じかんめ
			ぼしよ
			・ たいいくかん
			あそびのかず
			・ 1つ